

奈井江町役場庁舎基本計画は、現庁舎の老朽化や耐震性能等の不足を踏まえて、今後求められる「庁舎」の実現のため、必要な事項を検討してきたものです。

策定にあたっては、「役場庁舎整備検討委員会」での議論のほか、「まちづくり町民委員会」での意見も踏まえながら検討を進めました。

この計画をもとに、皆様に親しまれ利用しやすい庁舎を目指します。



役場庁舎の概要

鉄筋
コンクリート造

地上 3階
地下 1階
2,683.92 m²

昭和 46 年建設

1. 庁舎整備の必要性



老朽化する
役場庁舎

外壁の仕上げ材や建具が建設当初のままにより劣化が進行しています。また雨漏りの発生により、天井仕上げ材の剥がれや劣化も多数発生しています。

待合・相談スペースなどのサービス提供空間の不足や、窓口のプライバシーへの配慮が不十分であり、エレベーターも身障者トイレもなく利便性が低下しています。

さらに耐震性能不足！

平成 23 年度に実施した耐震診断では Is 値（構造耐震判定指標値）がすべての階で不足。

庁舎整備の方針

十分な耐震性を備え、機能性、効率性などに優れ、災害対策など、今後さらに多様化する行政需要に対応するためには、**新庁舎に建て替える**ことが妥当であると判断いたします。

2. 新庁舎の基本理念

1. より安心して利用できる庁舎
耐震性能の確保と防災機能の強化など

2. 機能的で親しみのある庁舎
窓口機能の強化と高齢者等への配慮

3. 交流や賑わいが広がる庁舎
気軽に利用できるスペースや情報発信

4. 経済的で環境にやさしい庁舎
維持管理コストを抑えた資材等の導入

※詳しくは基本計画（全体版）をご覧ください

3. 複合化を検討する施設

老朽化に伴う維持管理費の問題や、利用者の利便性の向上を目指すため、**次の3施設の役場庁舎との複合について検討**を進めます。

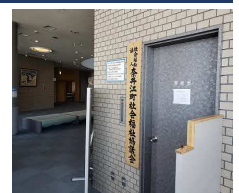
複合を検討する公共施設



保健センター



子育て支援センター



社会福祉協議会

4. 新庁舎の規模と位置

(1) 新庁舎の規模

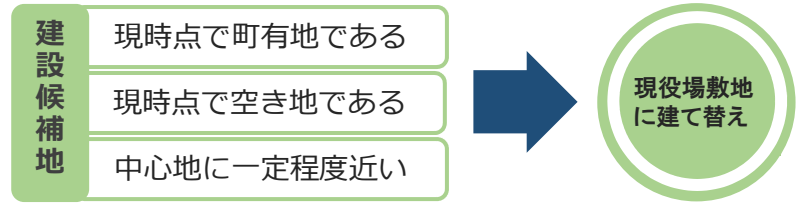
将来の人口減や行政需要の変化などに対応するためコンパクトかつ高機能な庁舎を目指します。

庁舎	2,400 m ²
保健センター	550 m ²
子育て支援センター	150 m ²
合計	3,100 m ²

※ 社会福祉協議会の面積は庁舎に含む

(2) 新庁舎の位置

利便性や最大限考慮することや、用地購入等による支出と期間を極力抑えるため、建設候補地は次の3つの条件に当てはまる場所とし、**現役場庁舎敷地**とします。



5. 事業費と財源

現在積立てを行っている「役場庁舎整備基金」を活用し、さらに**国の地方財政措置（市町村役場機能緊急保全事業債、過疎対策事業債）**の適用を受けながら、極力負債が少なく済むようにします。

総事業費
19億8,000万円

内訳

新庁舎の建設の事業費想定額

建築工事	16億5,000万円
設計費・調査費	1億円
現庁舎解体費	8,000万円
備品購入費等	5,000万円
附属建物建設費	1億円

※金額は見込み

財源は・・・

起債借入額

市町村役場機能緊急保全事業債（庁舎機能分）
12億8,880万円

過疎対策事業債（保健センター、子育て支援センター機能分）
4億1,800万円

※金額は見込み

6. 事業スケジュール

市町村役場機能緊急保全事業債の活用を見込むため、**令和2年度中に実施設計**を着手し、令和4年度の着工を目指します。**新庁舎の供用開始は令和6年度**を想定しています。

